

PCT News Letter vol.13

Palliative Care Team

緩和ケア委員会からのお知らせ

新しい年がはじまりました！

総合上飯田第一病院緩和ケアチーム（PCT）の活動を紹介するレター、ひさしぶりの発行で新年号です。みなさんはどのように新年を迎えられたでしょうか。一日いちにちが過ぎていくには何も変わりがないのに、新しい年はじめりにあたってはなんだか自然に一年を振り返り、なんだか力をこめてこれから来る一年の計を思ってみたり・・・わたしは、ちょうど1年前に「外科と緩和のハイブリッド的両立」を強く願っていました。年明け早々、外科スタッフの理解と協力によってとりあえず「外科・緩和科」という立ち位置を得て、患者さんやご家族に柔軟な立場で向き合うことができるようになり、院内の緩和的レベルアップを目指して全部署に発信を続け、PCTメンバーも最大限の力を発揮してくれました。また、こうした活動を各種の学会や研究会で報告し、**全国区でも評価されるレベルに達したと確認できました**。患者さんのケアと一緒に悩み、コンサートやカンファレンスなどの活動でもご協力いただいた院内職員のみなさん、たくさんの患者さんやご家族のみなさん、近隣施設でご指導ご協力いただいた先生方やスタッフのみなさん。**すべての出会いが私たちにとっての学びになり、成長になり、次の仕事に生かされていくということをこれほど実感した年はありませんでした**。深くお礼を申し上げます。また本年も未熟な私どもPCTにさまざまなご意見ご指導をいただきますよう、よろ

しくお願いいたします。

さて、今年のPCTの抱負は・・・ロコミやHPを通じて、あるいは紹介で受診してくださる患者さんが増えてきていますので、原点に立ち返り、質の高い、そして真にあたたかい医療を提供していけるように勉強を深めたいと思います。たとえば**抗がん治療（抗がん剤・手術・放射線治療）についても、さまざまな支持療法・緩和治療（ペインコントロール・ステント治療・がん漢方・リハビリ・栄養管理など）についても、終末期のプランニングについても、最先端の情報や手段はひとつとおり持っている**。しかしそれらを押し付けることなく、既存の医療の常識にもとらわれることなく、**患者さん一人ひとりとじっくり向き合っ、治療方針を組み立て、みんなで支えていく**。そんな仕事で一人でも多くの方の役にたてる病院になるうではないですか。「置かれた場所で咲きなさい」がベストセラーとなった渡邊和子氏の著書「面倒だから、しよう」より一部引用します。

～看護の原点は、「看」の時が示すように、温かい手とまなざしであることを忘れてはいけない。

ある方が入院中に眠れずにいたので、お医者さまに相談すると、「わかりました。では、薬の量を減らすか、薬を変えてみましょう」とおつし

やったそうです。その後看護師さんにも同様に打ち明けると、「**夜が長かったんでしょね、辛かったでしょうね**」と**いってくれて、その言葉に自分は救われたと**、私に話してくれました。

・・・医者としては謙虚に受け止めると同時に、「だからこそそのチーム医療なんだな」と身につまされました。看護やケアというものは、患者さんやご家族と日々直接向かい合う病棟スタッフのみなさんのちからに大きく依存しています。病棟に負担がかかりすぎることなく、一緒に理想的なケアを提供していけるように交流していきたいと思えます。

とはいえ、「緩和ケア」という言葉自体がイコール「終末期ケア」とまだまだ誤解されやすく、「**がんに限らず、また終末期でなくても、深刻な病気による悩みを抱えるすべてのひとのための医療**」だとはなかなか普及していないのが現状です。病院では本音が言えないと、「がんに効く」とうたう詐欺まがいのナントカ療法に流れてしまわれるのはあまりにも残念です。気軽に相談していただくためには、元気がでる楽しいイベントも一計。というわけで、山あり谷ありの青空コンサートもなんとか続けていきたいのです。クリスマスコンサートでのお客様および参加スタッフの声を紹介します！)



出演者の、これまでのコンサートで心に残るエピソード

- ・客席から患者さんが笑顔で手を振り返してくれると参加して良かったと思うし、目的が果たせた満足感がありました（毎回出演の歯科衛生士さん。もっとも多くの担当患者さんを持つPCTメンバーならではのご意見）
- ・「入院がたまたま重なってラッキーだったわ」という言葉で、入院生活に少しでも良い思い出ができたとなったらうれしかった（入院するほどの病気はアンラッキー、でもこんなふう感じていただけたら最高ですね!）
- ・会場に入れず、扉の外から手を叩きながら観覧していただいている患者さんたちの背中。（今回想定外にお客様が多く、入りきれない方も出てすみませんでした。改善案を練ります）
- ・昨年アンケートで何件かツリーの仮装について触れて下さっていた方がいたので嬉しかったです（歩くクリスマスツリー氏。根強い固定ファンが増加中!?!）
- ・クリスマスコンサートを目標に離床する練習をして、当日楽しんで観に来てくれたこと
- ・自分の担当患者様が痛みで参加に消極的だったのですが、最初から参加され、帰り際に涙目で「良かった」と言ってくれた事。（PCTにこのような思い出は多く、決して忘れることはないでしょう・・・）

バンド「上飯田スイングガールズ&ボーイズ」

お客様

- ・パンチがあり、スイングガールの名前の様に体ごとスイング！ありがとうございます
- ・リズムがとても良いです。元気づけられます。（リズム感こだわって練習しました〜♪）
- ・美人は得（え？え？え？・・・誰のこと〜???)
- ・私も何か楽器が演奏したくなりました。（メンバー募集中ですよ！ぜひ一緒にいかが?）



スタッフ

- ・まさか大人になってから始めた方がいらしたとは・・・驚きでした（アナタもいかが?）
- ・2曲は少し物足りない気がしました。もう少し聴きたいです。（そんな感想いただいて光栄）
- ・今までで一番まとまりがあったと思います。（4回目ともなればさすがに・・・?）
- ・お客様の誘導であまり聴けなかった（同意見多数。奮闘ありがとう!）



ハンドベル隊「ハッピー☆リハビリ」

お客様

- ・上品な静かなベルの音で心安らいだ
- ・みなさん いそがしいのに ジングルベル 上手に よかったです
- ・若い先生の集まりでいつもの先生の指導とうって変っての一面 (かわいかったですよ?)



スタッフ

- ・一番クリスマス感があってよかったです (同意見多数。今回他にクリスマスソングなかったですからね!!!)
- ・リハビリの方の意外な表情がみれてよかったです (愛ある療法中はキビシイ皆さんですから)
- ・仕事の合間に頑張ってる練習してよかった (遅くまで練習おつかれさまでした!!)

オカリナ演奏

お役様

- ・女のみりよくというものをみせつけられました (つるさんの思惑通りですね!!!汗)
- ・しっとりとしたオカリナもあり得した気分です (盛りだくさんの大プロジェクトでお得感ありよ!)
- ・なつかしい歌の曲で気持ちよかった
- ・体験談 私のこれからの人生にはげみになりました



スタッフ

- ・つるさんのエピソードを含めて患者さんたちに元気になってもらえたと思います (体験談のインパクトは演奏を超えてましたよね!)
- ・演奏もいっしょに口ずさんでいる/鼻歌で参加されているお客さんがいてよかった (お客さまの嗜好を読んだ選曲だったようですね)
- ・曲ごとにオカリナを替えて演奏されていたので驚きました (プロみたい!)
- ・患者さんが頑張っている姿は患者さんにとって励みになったと思う

ショータイム「燃えよドラゴンズ」

お客さま

- ・クリステル、手じな・カクテル、時々、へまがよかった (そう言っていただけでほっとします)
- ・目はショーにいったんですが耳で音が聴こえ、皆さん一体になって感動です (アレ、ぶっつけ本番で何とか合ったんですよ・・・)
- ・すごく仲の良い病院スタッフだとビックリしました。手術後なのでおながが大変でした。 (笑って浴りも早くなるよ!)
- ・日頃の疲れがふっとんだ よかったです



スタッフ

- ・ドアアばい人が良かった。 (・・・これ、青いコアラの中身の人らしい。いやホント大人気でしたよ!)
- ・病院全体で参加!! 感がでていて、すごく楽しかったです。
- ・プレッシャーは毎回大きいです (毎回酒瓶を飛ばしている周央氏。お疲れさま!)

青空エコーズ

お客様

- ・男子の人数が少なかったけどはりきってやっていたのがすごかった。
(そうです、少数精鋭ってやつです！)
- ・せいしゅんを思い出しました(あのすばらしい愛をとって、実は失恋ソングのようですが・・・それも青春か！)
- ・男性のベースががんばってたので曲が豊かになってた なぜか2曲目涙が出た
- ・素晴らしい唄声でプロ顔負けでした
(前回までは“素人が必死にやってる感”がウリでしたが、大進歩!?)
- ・担当医の他の一面も見ておもしろかった(誰の患者さんダロウ???)



スタッフ

- ・患者さん方が歌で手拍子とかしてくれた時は本当にうれしかったです
- ・練習の成果を遺憾なく発揮して、練習と同じところで間違えました
(ありゃ！)
- ・最初の練習の時は、全然歌えなくてどうしようかと思ったんですが、本番にはちゃんと形になっていたのがよかった
(今回初参加で目が点になってた検査部。でも熱意と上達の速さは最高でした！)
- ・練習は大変だったけど、参加してよかったと思った。
(合唱は練習厳しかったとの声多数。だからこそその成果ですね)

スイング&エコーズ&会場参加アンコール「風になりたい」

お客様

- ・和やかに楽しくて病院ってことを忘れるくらい良かった。(そりゃ良かった！)
- ・さながらどこかのショーを見ているようでした。この病院にお世話になった事、あらためて感謝しております
- ・X-JapanのYoshikiも来て楽しかったです(・・・そんな有名人来てたっけ?あぁ、整形外科医の・・・)



スタッフ

- ・おれ、最高(・・・Dr. Yoshiki. さすがですわ)
- ・本来の目的にもっとも近いものができたと思います
- ・全員で盛り上がるのができたし、患者さんも楽しんでくれたんじゃないかなと思います。
- ・サプライズもあり、笑いの中で、楽しい演奏ができた気がします
(ベーシスト嬢。ノリノリな演奏でフル出演。)
- ・Sp&Dr. Yoshikiにおいしいとこ持っていかれた・・・
(山田クリステル氏。いや貴女?もなかなかよかったですよ!?)

お客様より、全体について

- ・皆さんの団結力がすごい! チームカミイイダダイチビョウインですね
- ・もっとみていたかったです。笑いあり涙ありで最高のステージでした。
- ・業務の忙しい中、こういう会を立ち上げ続けることにすごく苦労があると思うが、すごい力をもらえると思うので、ぜひがんばってください。
- ・老若男女 誰に対しても温かく迎え入れる病院のシンボリックなイベントだと思います



そう、イベントを一緒につくりあげることで、病院全体が「患者さんのハッピーを目指すチーム」としてさらにまとまっていけたら最高ですね。それでは、またお目にかかりましょう! 今年もよろしくお願ひします!